



話したいな、わたしのすきな時間

1 学習の目標・課題

この単元では、話の中心が聞き手に伝わるように話す力を付けます。
課題は、理由とその事例を「関係付け」て考え、事例を「くらべる」中でより良いものを選び、自分のすきな時間についてスピーチをすることです。

2 学習の流れ

課題の設定

- ◆ 単元の目的を理解し、学習の見通しをもつ
 - ・昨年度に学習した「たからものをしょうかいしよう」のスピーチを想起させ、どのようなことを学んだか確認する。
 - ・教師によるスピーチを聞き、どのようなスピーチをするかイメージをもつ。
 - ・スピーチに関する気付き、感想を書いて発表する。



情報の収集

- ◆ 自分の話題を決め、その理由を考える
 - ・自分のすきな時間をいくつか考え、発表する中で、自分の話題を決める。
 - ・例として、一つの話について全体で理由やどんなときにすきと思ったか（事例）を考え、自分の話題についての理由を決め、事例をいろいろな面から考え、書き出す。

情報の整理

- ◆ 集めた材料を「くらべる」「関係づける」ことで、話の中心を明確にさせるために必要な事柄を選ぶ。
 - ・提示された、すきな理由とどんなときにすきと思ったか（事例）から、どの事例を話せばすきな理由を詳しくできるのか考える。
 - ・自分のスピーチについて、決めている理由に対する事例はどれがよいか選ぶ。

振り返る

- ◆ 単元の学習を振り返る
 - ・単元で学習したことを書き、今後それがどのように生かせることができるかを考える。

表現する

- ◆ 全体の場でスピーチをする。
 - ・聞き手を見ながら話す。
 - ・感想を伝え合う。